

令和4年8月14日の大気不安定による大雨について (和歌山県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

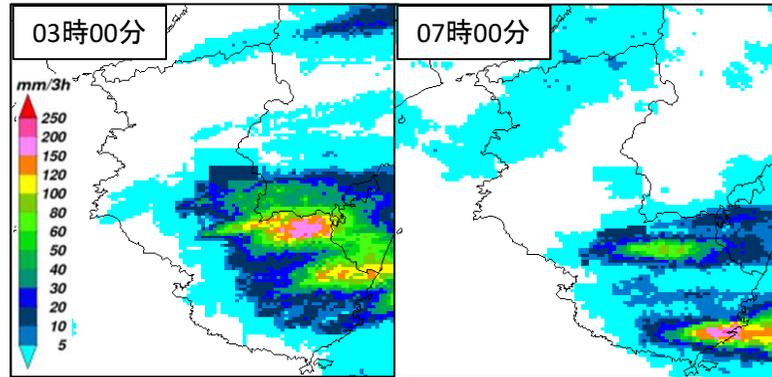
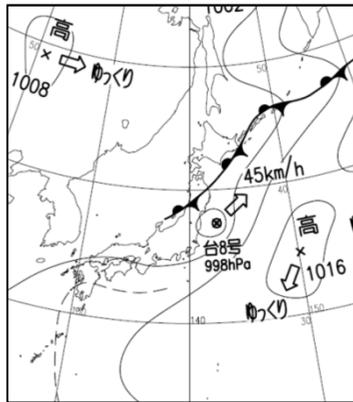
概要

日本の東海上に中心をもつ高気圧の縁を回って、暖かく湿った空気が流れ込んだため、和歌山県では大気非常に不安定な状態となりました。さらに上空に寒気が流入したため、和歌山県南部では雨雲が急激に発達し大雨となりました。

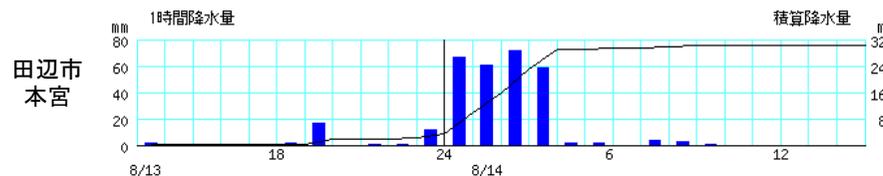
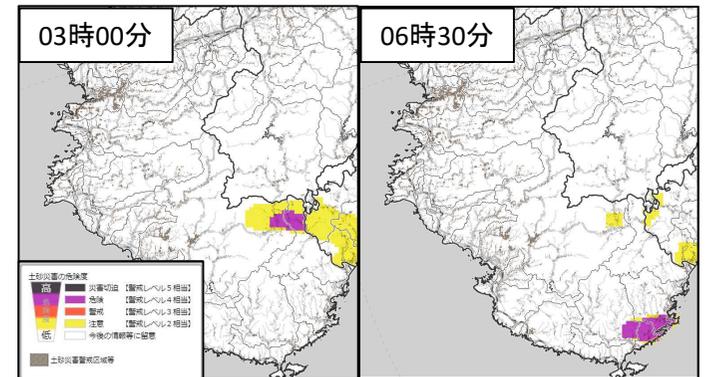
降り始めの13日13時から14日15時までの総降水量は、田辺市本宮で301.0ミリを観測しました(参考:8月の月降水量の平年値は、田辺市本宮:361.5ミリ)。また、田辺市本宮では14日に日最大1時間降水量87.0ミリ、月最大3時間降水量215.5ミリを観測し、いずれも統計開始以来1位を更新しました。

和歌山地方气象台は南部の市町村を対象とする大雨警報(土砂災害・浸水害)と洪水警報、記録的短時間大雨情報を発表したほか、和歌山県と共同で、田辺市、新宮市、那智勝浦町、串本町、古座川町、太地町を対象に土砂災害警戒情報を発表しました。田辺市と串本町では、避難指示が発令されました。

この大雨の影響で、住家被害(床上浸水1棟、床下浸水6棟)、非住家被害(床上浸水1棟、床下浸水3棟)、JRきのくに線で紀伊勝浦駅～串本駅間の運転見合わせ、道路の通行止めなどがありました。
【被害状況:14日16時00分現在、和歌山県調べ】



8月14日03時00分, 07時00分 前3時間解析雨量
※この分布の値は雨量計で観測された値ではなくレーダーの資料などから解析したもののため、実際の雨量と異なる場合がありますので留意願います。



※横軸は時刻を示す。
※降水量棒グラフは1時間降水量(左軸)、折れ線グラフは積算降水量(右軸)を示す(単位mm)